

ファイティングバーズ始動

野球独立リーグ

闘雞神社で必勝祈願

野球独立リーグの「和歌山ファイティングバーズ」は4日、田辺市東陽の闘雞神社で今シーズンの必勝を祈願した。6日から同市や上富田町でキャンプし、チームが始動。4月に開幕するリーグ戦の優勝を目指す。

ファイティングバーズは、18人が参加した。拜殿で神事。近畿地方の野球独立リーグがあり、選手たちがけがなく「ベースボール・ファースト今シーズンを過ごせるよう神・リーグ」に参入する。田辺市鮎川に球団事務所がある。監督や選手らが同市中辺路町など周辺に移住し、年明けから自主トレーニングをしてきた。山崎監督は「リーグの優勝を祈った。10月のプロ野球ドラフト会議で一人でも多くの指名者を出すことが目標。今月中旬からの実戦練習で選手の能力を見極めたい」と話した。主

将の高橋直也選手(24)は「地域の人にチームを好きになってもらえるよう盛り上げ、誰が見てもわくわくするチームをつくりたい」と意気込みを語った。チームは5日、田辺市中辺路町の中辺路多目的グラウンドで、兵庫県三田市の中学生チームに対する野球教室を開く。6日から同グラウンドや上富田スポーツセンターなどでキャンプし、3月からオープン戦をする。



必勝を祈願する和歌山ファイティングバーズの選手
(4日、田辺市東陽の闘雞神社で)

4日の必勝祈願には、女子硬式野球のクラブチーム「和歌山ファイティングバーズANA」の川保麻弥監督と選手10人も参加した。この日からチームが本格的に始動。中学生から一般までの選手らが技術の向上や試合での活躍を誓った。